



株式会社 横河ブリッジホールディングス

第 5 次中期経営計画

2020－2022.3期

2019年5月22日

I. 第4次中期経営計画のレビュー

II. 経営ビジョン

III. 第5次中期経営計画の概要

1. 基本方針
2. 業績目標と株主還元策

IV. サステナビリティへの取り組み

I. 第4次中期経営計画のレビュー

II. 経営ビジョン

III. 第5次中期経営計画の概要

1. 基本方針
2. 業績目標と株主還元策

IV. サステナビリティへの取り組み

I. 第4次中期経営計画の基本方針と事業環境

【基本方針】

- 1 グループ経営の一層の効率化**
- 2 橋梁事業全体の拡大**
- 3 システム建築事業と土木関連事業の成長**
- 4 大規模更新・大規模修繕事業への対応**

【事業環境】

インフラ整備や
維持管理・更新の需要増加

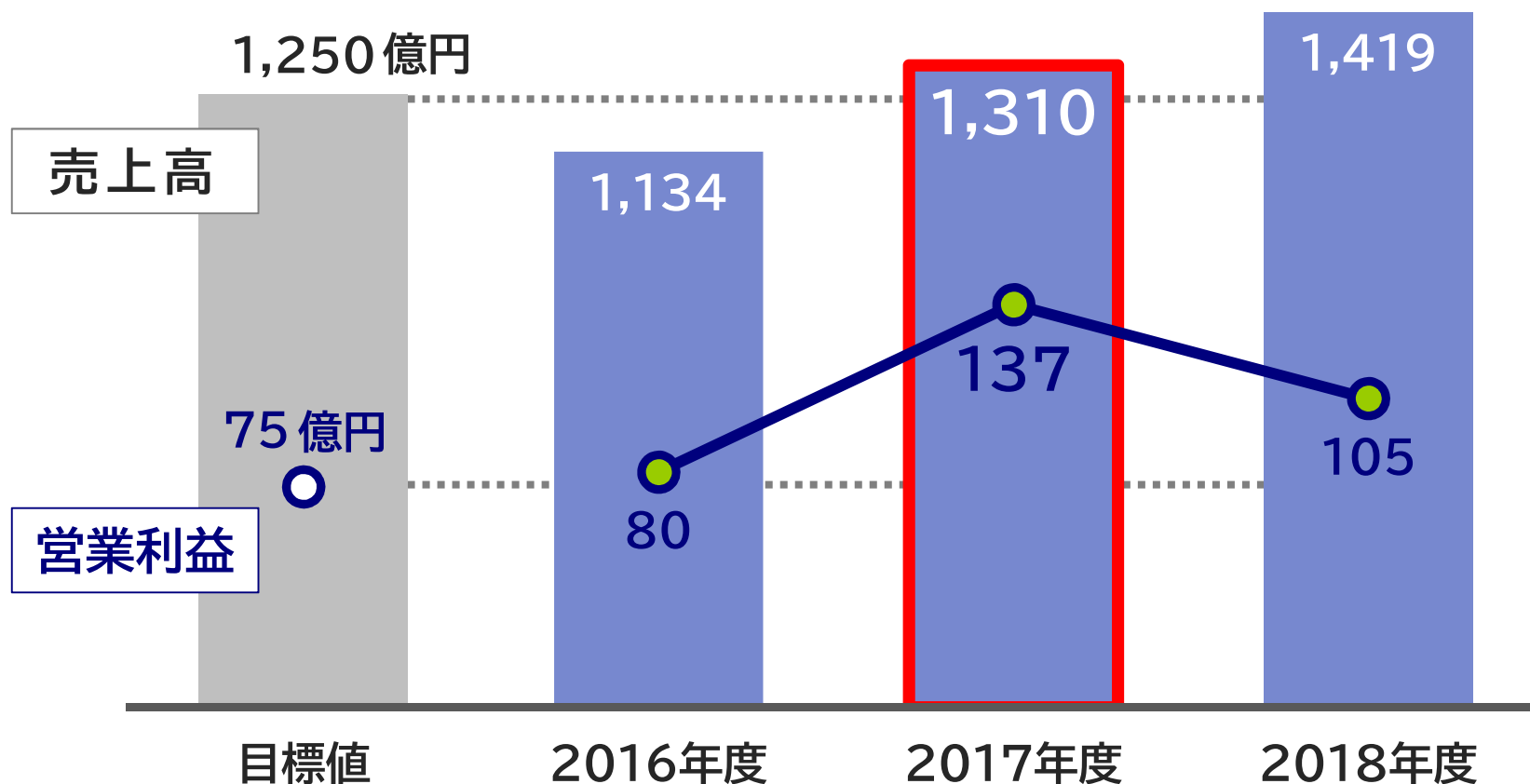
交通インフラ整備の進展に伴い
物流倉庫が堅調に推移

I. 第4次中期経営計画の達成状況

- 橋梁事業の収益向上
- システム建築の売上・収益拡大
- 重量鋼構造物事業への営業展開



数値目標を
2年目で達成



I. 第4次中期経営計画のレビュー

II. 経営ビジョン

III. 第5次中期経営計画の概要

1. 基本方針
2. 業績目標と株主還元策

IV. サステイナビリティへの取り組み

Ⅱ. 経営ビジョン

企業理念
「 社会公共への奉仕と健全経営 」

【経営ビジョン】

3

強固な経営基盤の構築

生産効率向上、保有資産の有効活用など
筋肉質で強固な体制づくり

2

多角的な鋼構造 エンジニアリング

新しいことへのチャレンジによる事業の拡大

1

長期的な橋守り

架け替え、点検・補修等の包括管理など
長期的に橋梁を守るためのバックアップ

I. 第4次中期経営計画のレビュー

II. 経営ビジョン

III. 第5次中期経営計画の概要

1. 基本方針

2. 業績目標と株主還元策

IV. サステイナビリティへの取り組み

Ⅲ-1. 第5次中期経営計画の基本方針

経営ビジョン

1. 長期的な橋守り

2. 多角的な鋼構造
エンジニアリング

3. 強固な経営基盤の構築

1

保全事業への対応強化で、
新設と合わせた橋梁事業の維持拡大と最適化を図る

2

システム建築事業の更なる拡大のため
2工場体制の確立と損益管理体制の強化を図る

3

トンネルセグメントに代表される
土木鋼構造エンジニアリング事業を成長させる

4

海外橋梁・アルミ製品・精密機器製造事業についても
それぞれ拡大を図る

Ⅲ-1. 第5次中期経営計画の基本方針①

1

保全事業への対応強化で、
新設と合わせた橋梁事業の維持拡大と最適化を図る



新設橋梁事業



天城橋

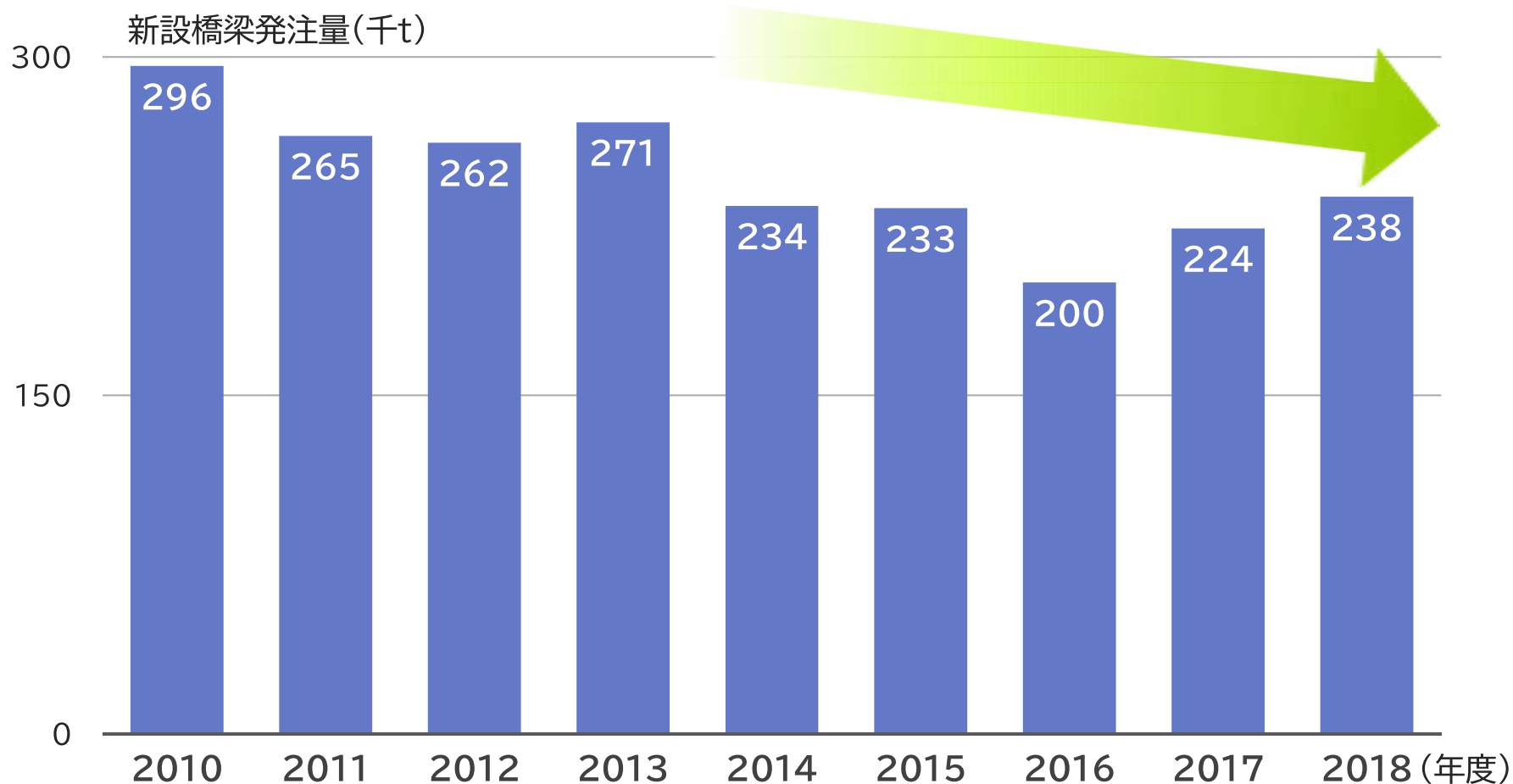
保全事業



小仁熊橋床版取替

Ⅲ-1. 基本方針①：新設橋梁事業の事業環境

第5次中計期間では、20万トンを超える見込み



* 出所: 日本橋梁建設協会「橋梁年鑑」

Ⅲ-1. 基本方針①：保全事業の事業環境

3兆円規模の市場拡大が期待される大規模更新・大規模修繕事業

床版取替、
桁の架替等の更新

床版防水、橋脚・桁・
床版の補強等の修繕

拡幅、連結路追加等
による機能強化

東日本、中日本、西日本高速道路会社

大規模更新・大規模修繕(床版取替、床版防水等)
約1兆8,100億円

首都高速道路会社

大規模更新・大規模修繕
(架け替え、拡幅、床版取替、床版・橋脚・桁の補強等)
約6,200億円

本州四国連絡高速道路会社

大規模修繕(床版防水等)
約200億円

国土交通省(既設橋)

RC床版の取替:約2,100橋
鋼床版の補修:370橋

阪神高速道路会社

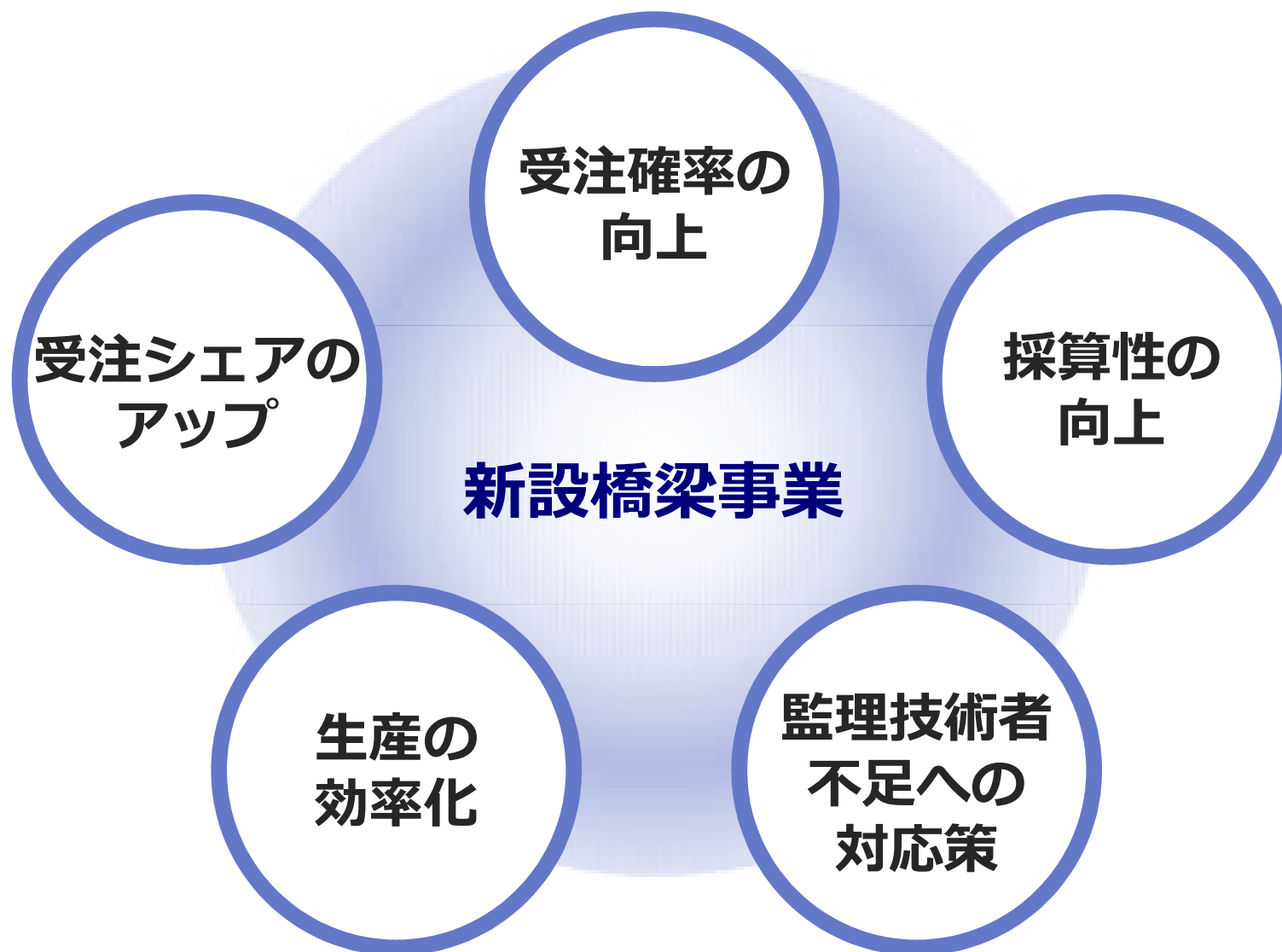
大規模更新・大規模修繕
(床版取替、床版・橋脚・桁の補強等)
約3,700億円

防災・減災の強化として更なる耐震補強が推進される

緊急輸送道路について、2021年度
までに少なくとも発生確率が
26%以上の地域で完了を目指す

跨道橋については
落橋・倒壊防止対策に今後5年間で
優先的に支援を実施

Ⅲ-1. 基本方針①：新設橋梁事業の課題



Ⅲ-1. 基本方針①：新設橋梁事業の課題への対応策①

重大災害の撲滅

過去の事故や災害の事例を周知

工事管理ノウハウを展開し教育を充実

作業所の安全管理体制を強化



社内教育

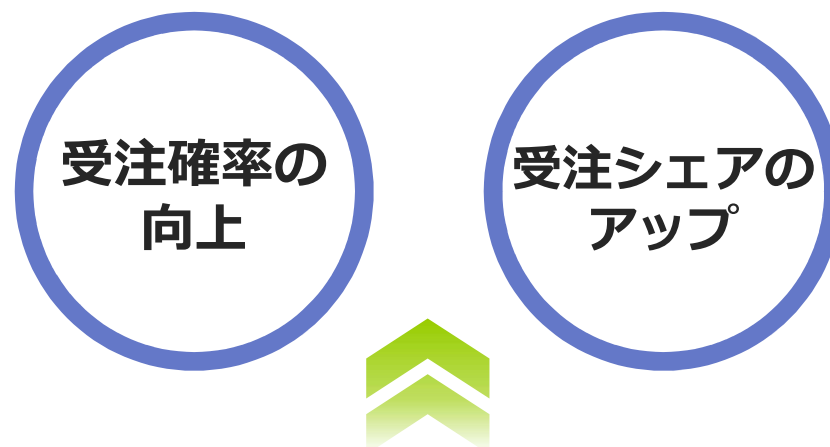


社内教育



フルハーネス型安全帯と
安全ブロックシステムの使用状況

Ⅲ-1. 基本方針①：新設橋梁事業の課題への対応策②



詳細設計付発注方式・施工計画付発注方式の推進

同業他社との差別化

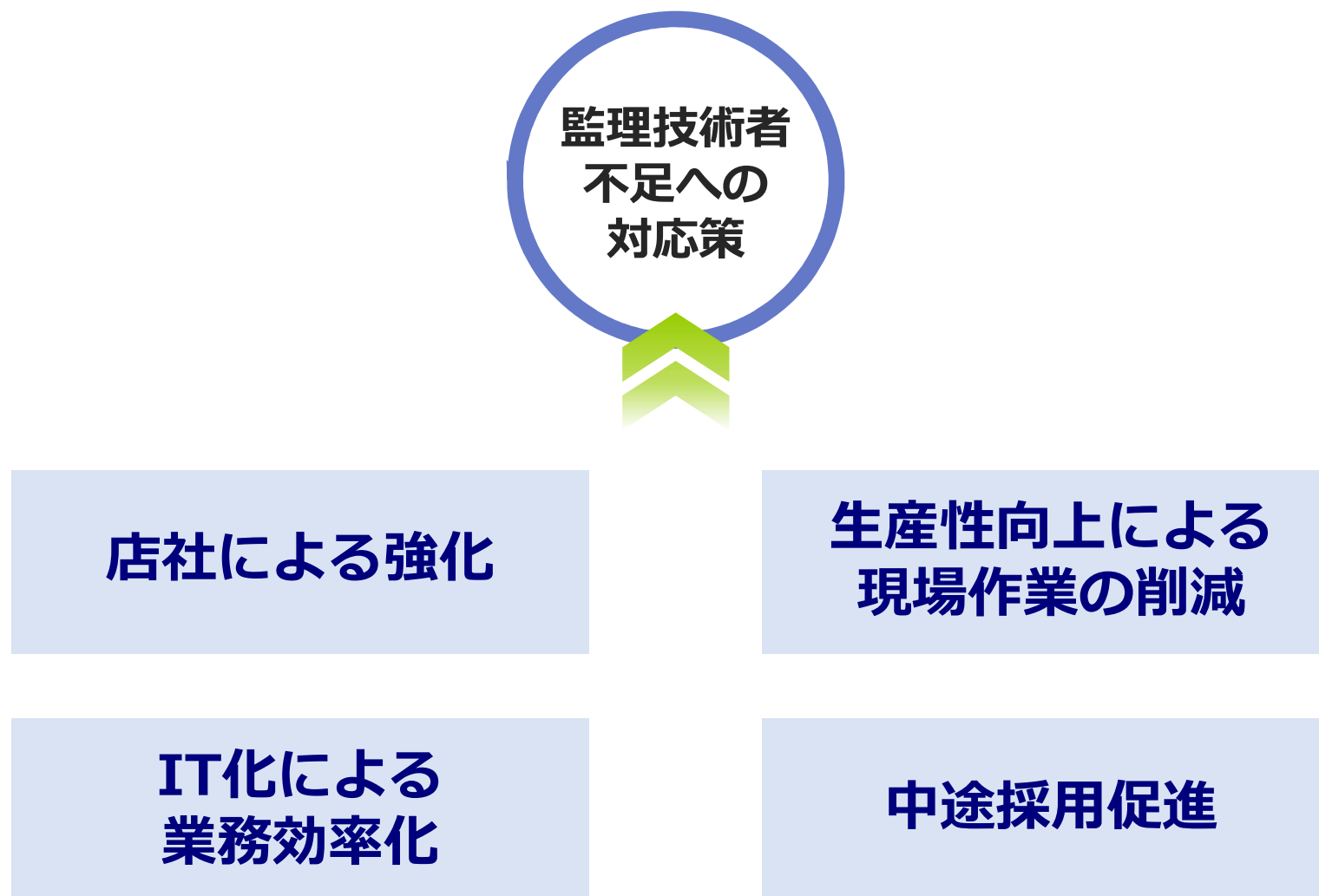
優位性の獲得

技術提案力
の強化

企業評価点
の向上

積算精度
の向上

Ⅲ-1. 基本方針①：新設橋梁事業の課題への対応策③



Ⅲ-1. 基本方針①：保全事業の課題への対応策①

保全技術者の育成が重要な課題

設計技術者・現場技術者の多能化を推進



仮橋



床版取替



橋梁点検

異業種JVにより
コンクリート技術を習得



探傷試験



診断業務

Ⅲ-1. 基本方針①：保全事業の課題への対応策②

保全事業の 利益確保の方策

積算価格の
更なる改善活動

設計変更の
獲得などにより
採算性の向上

Ⅲ-1. 第5次中期経営計画の基本方針②

2

システム建築事業の更なる拡大のため
2工場体制の確立と損益管理体制の強化を図る



システム建築事業



赤星工業株式会社富津工場工場棟



日本財団パラアリーナ

Ⅲ-1. 基本方針②：システム建築事業の事業環境

システム建築事業の更なる拡大

東京オリンピック開催に
向けた建設投資

物流変革による
新たな需要増

東京オリンピック後も
建設投資が見込まれている

技術者不足
鉄骨加工業者不足

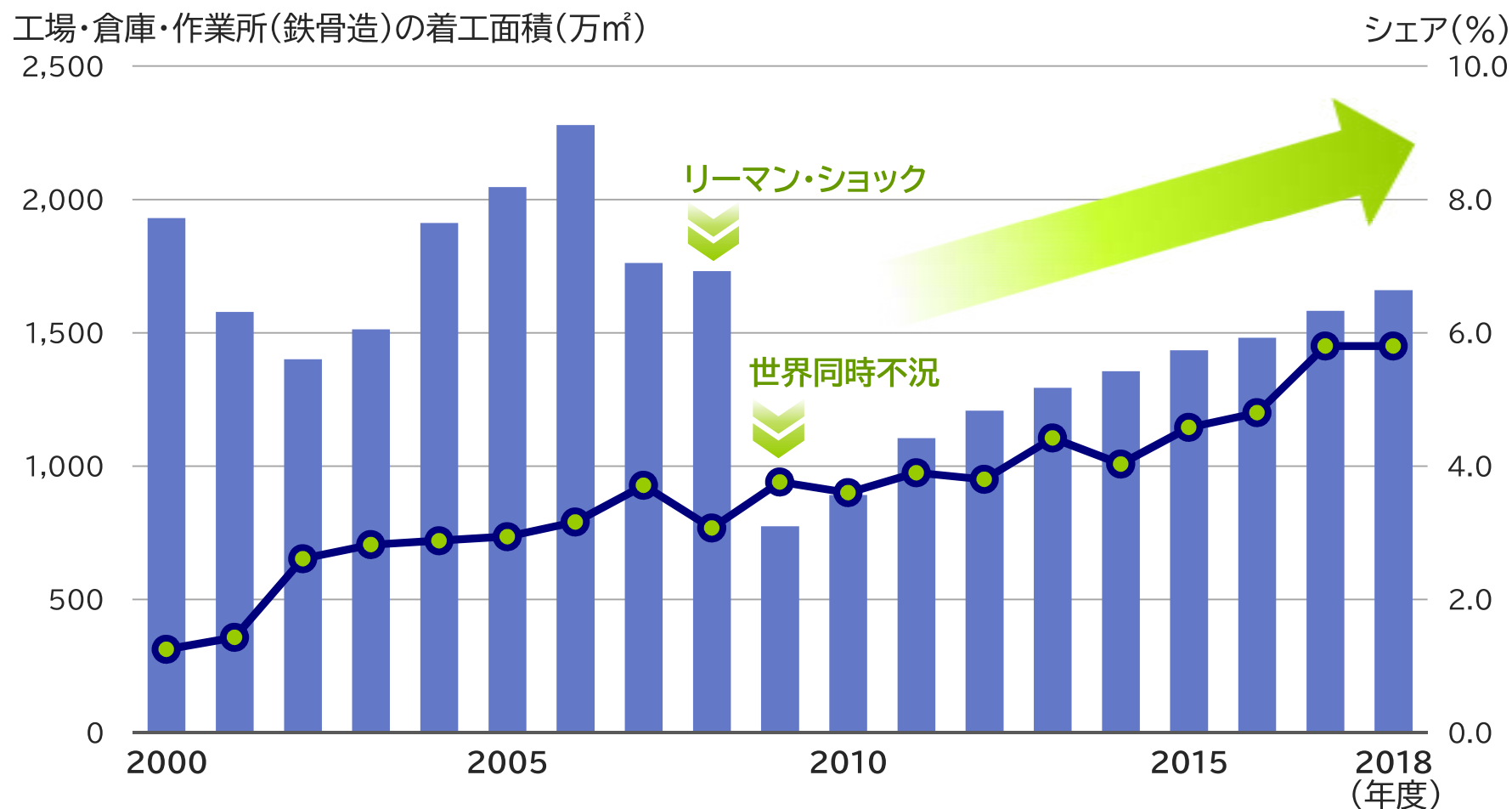


今後の展望

これらを合理的に解決できる
システム建築への期待が益々高まる

Ⅲ-1. 基本方針②：システム建築事業の取り組み

2018年度は受注面積96万㎡、シェア5.8%
2019年度以降はさらに上昇を目指す



Ⅲ-1. 基本方針②：システム建築事業の取り組み

新茂原工場を軌道にのせ、生産量の増大に対応



工場棟



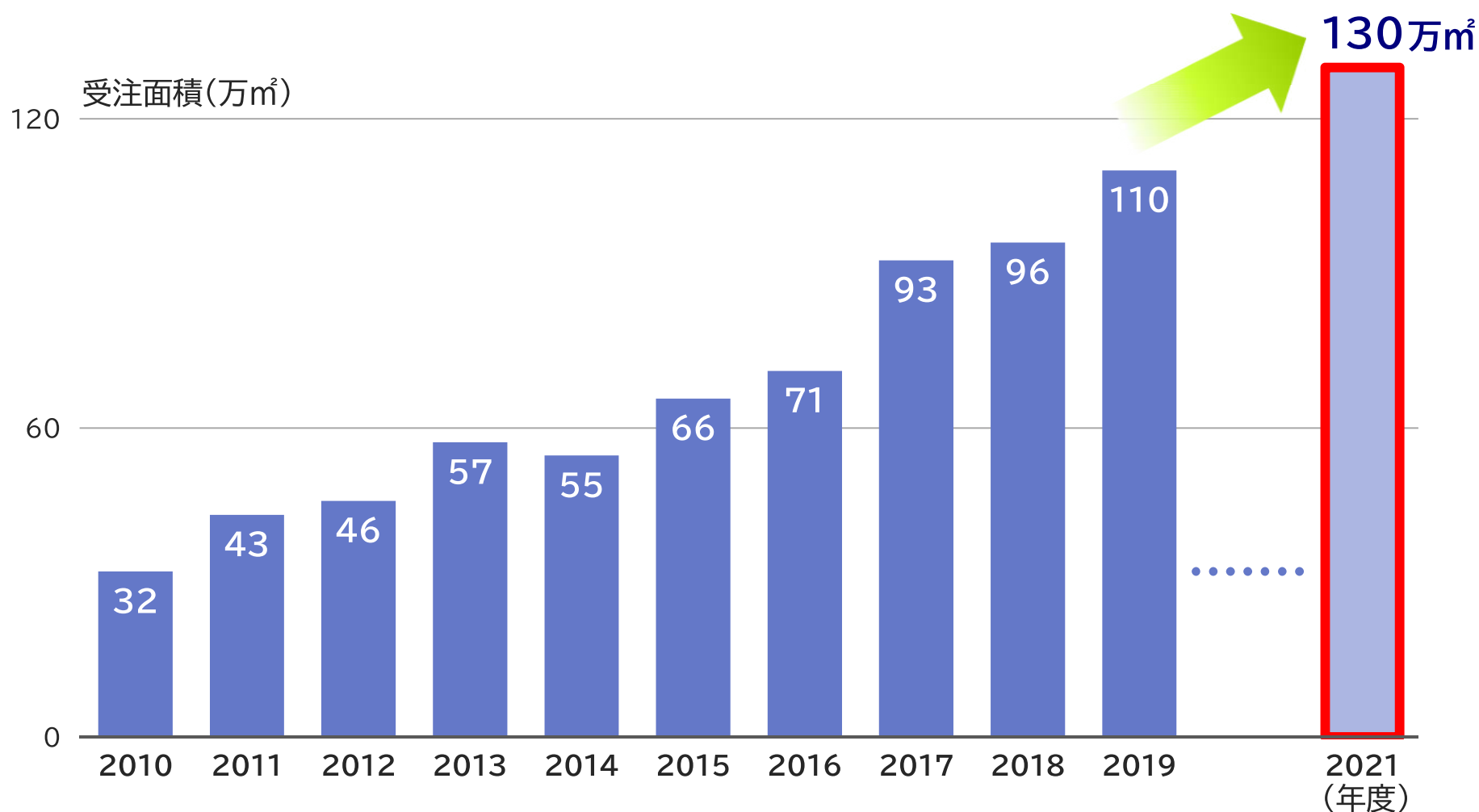
塗装・出荷ヤード棟



事務所棟

Ⅲ-1. 基本方針②：システム建築事業の取り組み

「短納期・低価格・高品質」を柱に、安定収益の体質を構築



Ⅲ-1. 第5次中期経営計画の基本方針③

3

トンネルセグメントに代表される
土木鋼構造エンジニアリング事業を成長させる



土木関連事業



サンドイッチ型合成セグメント



鋼製カルバート

Ⅲ-1. 基本方針③：土木関連事業の取り組み



東京外環
トンネル区間
国内最大の
シールド工事



リニア新幹線
ルート全体の86%が
トンネル区間

北海道新幹線
新函館北斗～札幌
(約211km) のうち
約150kmのトンネルを
計画・施工中



Ⅲ-1. 基本方針③：土木関連事業の事業環境①

**東日本大震災以降の
防災・減災事業の促進**

**地震・台風・豪雨への
防災対応の急務**



防潮堤

Ⅲ-1. 基本方針③：土木関連事業の事業環境②

トンネルセグメントの更なる拡販

防災・減災向けの鋼構造物への対応を推進



土木関連事業を将来の柱として育成



トンネル用鋼製セグメント



ハイブリッドケーソン

Ⅲ-1. 第5次中期経営計画の基本方針④

4

海外橋梁・アルミ製品・精密機器製造事業についても
それぞれ拡大を図る



海外事業



ストーンカッターズ橋

アルミ製品

精密機器製造事業



鋼製フレーム(見本)



cusa

Ⅲ-1. 基本方針④：海外事業の事業環境と取り組み①

ミャンマーMEC社との関係強化により、さらなる発展・拡大



事業利益の確保

安定的な黒字基調
年間30～50億円の売り上げ

技術の継承

100年間培ってきた
誇れる「横河」の技術を継承

Ⅲ-1. 基本方針④：海外事業の事業環境と取り組み②

南アジア方面への展開を検討



バギー橋(全長約3.6kmのうち当JV施工区間約2.7km、約18,000t) 完成予想図

* 提供:独立行政法人国際協力機構(JICA)

Ⅲ-1. 基本方針④：アルミ製品の事業環境と取り組み

耐食性・施工性に優れた アルミ製足場「cusa」・アルミ製検査路「KERO」

降雪地帯や海岸地帯を中心に営業活動をさらに拡大



cusa



KERO



cusa全景



KERO全景

特にcusaは常設足場にもなるため普及・市場拡大が期待できる

Ⅲ-1. 基本方針④：精密機器製造事業の事業環境と取り組み



**半導体製造装置業界の市場規模は大きく
今後も半導体の需要増は継続する見込み**

**受注増加に対応
(いずみ工場・岸和田工場の2工場体制)**



2019年6月、岸和田に新工場が完成予定



I. 第4次中期経営計画のレビュー

II. 経営ビジョン

III. 第5次中期経営計画の概要

1. 基本方針

2. 業績目標と株主還元策

IV. サステナビリティへの取り組み

Ⅲ-2. 2021年度の数値目標①

2022年3月期の目標

第5次中計最終年度 (2022年3月末)

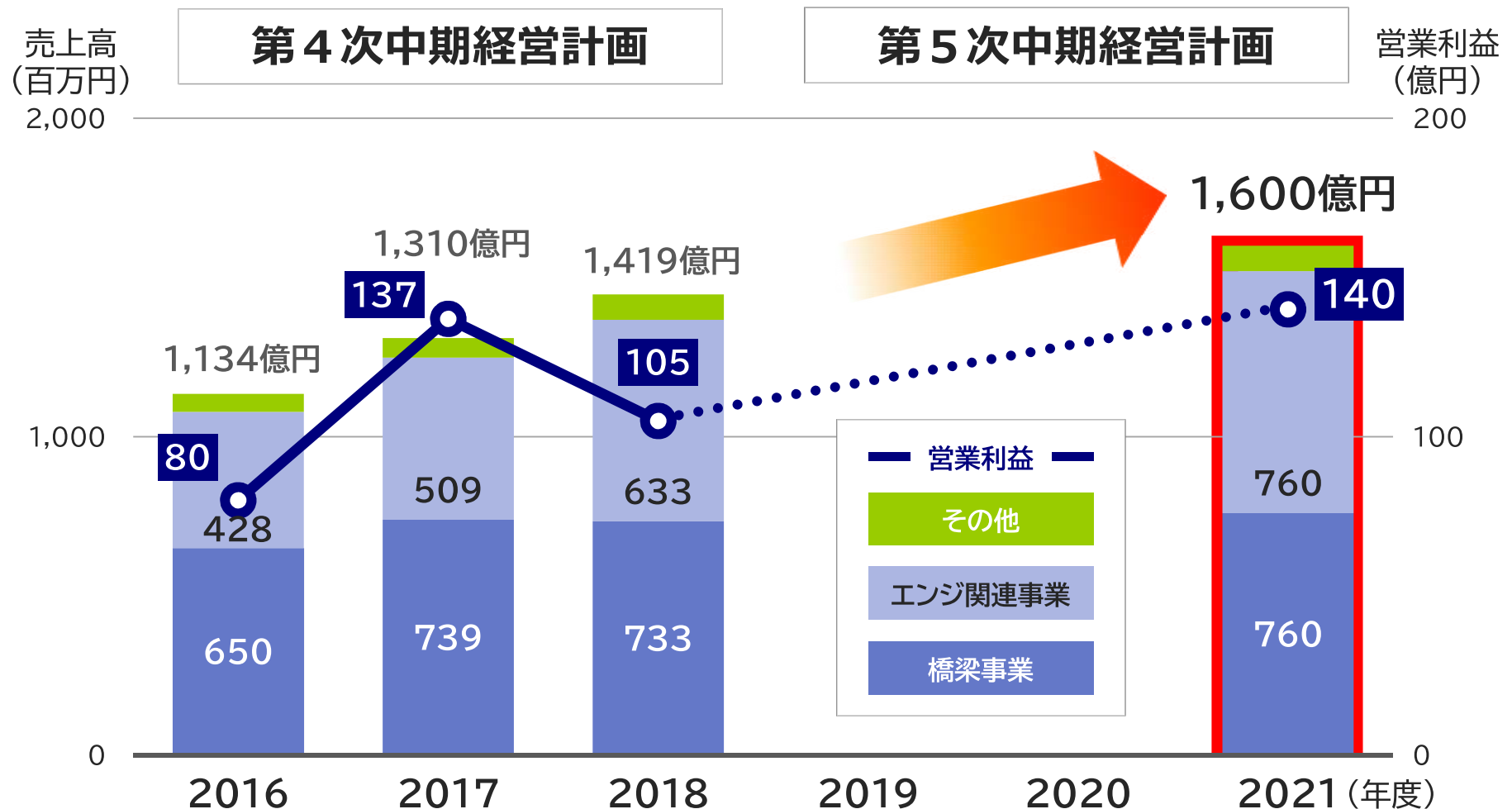
売 上 高	1,600億円
-------	---------

営 業 利 益	140億円
---------	-------

E P S	230円
-------	------

Ⅲ-2. 2021年度の数値目標②

セグメント別売上高と営業利益の推移



Ⅲ-2. 資本政策と株主還元

資本政策の基本方針

「財務の健全性と資本の効率性の両立」

株主還元策

「安定配当と機動的な自己株式の取得」

数値目標

自己資本比率	50%以上
--------	-------

ROE	8%以上
-----	------

配当性向	15%以上
------	-------

I. 第4次中期経営計画のレビュー

II. 経営ビジョン

III. 第5次中期経営計画の概要

1. 基本方針

2. 業績目標と株主還元策

IV. サステイナビリティへの取り組み

IV. ESGへの取り組み①

企業理念 「 社会公共への奉仕と健全経営 」

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



IV. ESGへの取り組み②

環境への配慮

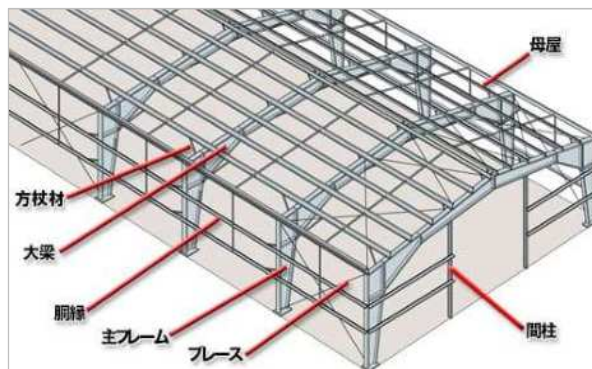


**長寿命化
(床版取替え)**

**環境配慮型
商品の開発**

**気候変動多様性
への対応**

汚染の予防



システム建築フレームシステム



シクナー(濁水処理装置)



工場屋根の太陽光パネル

IV. ESGへの取り組み③

社会貢献



災害復旧による社会貢献活動

耐震製品の提案

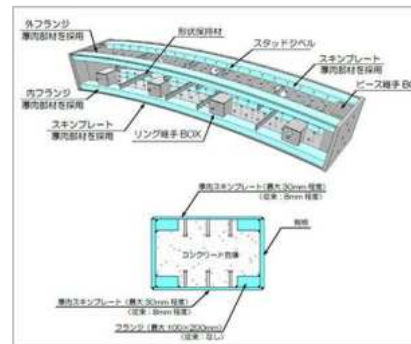
騒音・振動の少ない施工方法等の開発



プレキャスト防潮堤



震災時の緊急点検



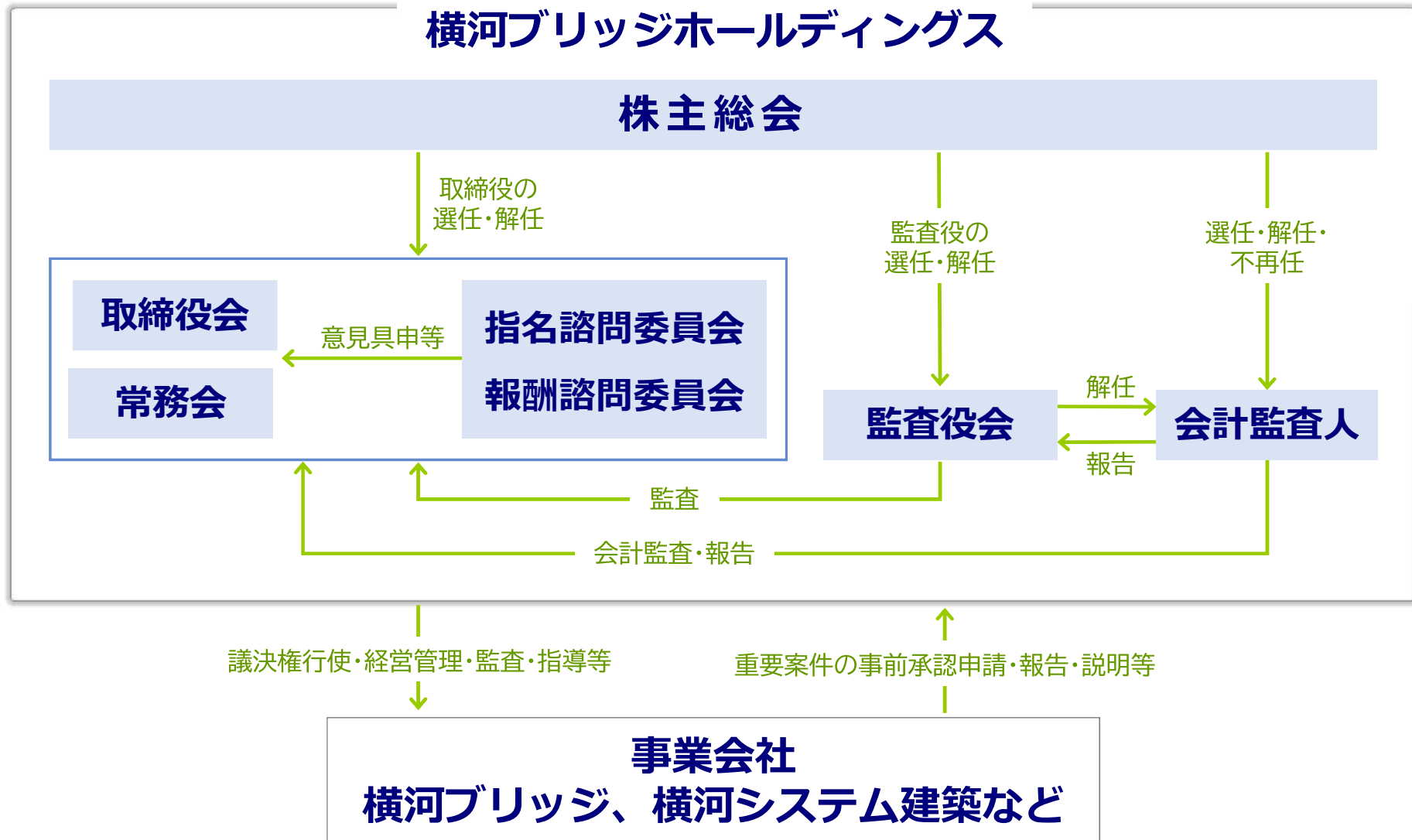
TUFセグメント



耐震製品「パワーチェーン」

IV. ESGへの取り組み④

持株会社 横河ブリッジホールディングス





株式会社 横河ブリッジホールディングス